

水稲「高密度播種苗」の出芽器を利用しない育苗法

農林総合研究所

農林総合研究所では、普及が拡大している高密度播種苗（密苗・密播）について、出芽器を利用せず、被覆資材を効果的に用いた育苗法を明らかにしました。その内容について簡単に紹介します。

被覆資材の効果的な利用法

- (1) 使用する資材
シルバーポリトウ、ラブシート（白）
- (2) 被覆方法
育苗箱を置床した後ラブシートをべたがけし、その上にシルバーポリトウを重ね、二重被覆とします。
- (3) 除覆のタイミング
 - 1) 出芽が揃ったらシルバーポリトウのみ除覆します。
 - 2) シルバーポリトウ除覆5日後、ラブシートを除覆します。



根拠となるデータ

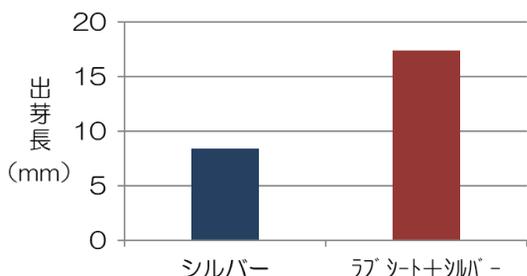


図1 低温時の出芽長（播種5日後）

・低温時の出芽は保温効果の高いラブシートとシルバーの二重被覆で優る（図1）

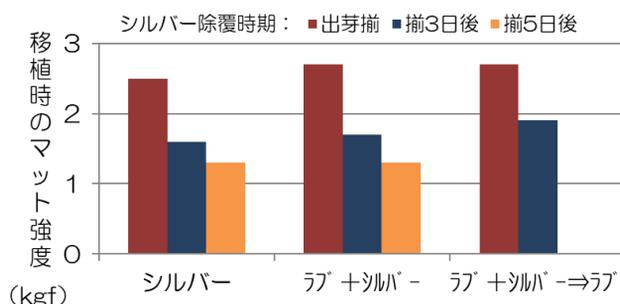


図2 移植時の育苗マットの強度

・育苗マットの強度は、シルバーの除覆時期が遅れると低下する（図2）

表1 移植時の苗の生育

区分	被覆期間	草丈 (cm)	第1葉鞘高 (cm)	葉齢 (葉)
シルバー	播種～出芽揃	12.9	4.2	2.0
シルバー+ラブシート	播種～出芽揃	13.4	4.5	2.0
シルバー+ラブシート → ラブシート継続	播種～出芽揃まで二重被覆、 その後5日間ラブシート被覆	15.4	5.1	2.0

・苗長の確保には、ラブシートとシルバーの二重被覆後、ラブシートを5日間継続するのが有効（表1）

利用上の注意点

- (1) 健全な種子を使用するとともに、厚播きや高温多湿で発生しやすい「くもの巣かび」などの防除も行ってください。
- (2) 育苗ハウス内の温度は極端な高温としないでください。
- (3) シルバーポリトウ除覆後は育苗箱が乾燥するので、適切に灌水してください。
- (4) 本試験結果は「シルバーポリトウ #80」と「ラブシート（白）」を用いた結果です。

お問い合わせ

農林総合研究所・作物部 (TEL0172-52-4396)